

## 会 議 記 録

会 議 名	令和元年度第1回高松市水環境協議会
開催日時	令和2年1月14日(火) 10時00分～12時00分
開催場所	高松市役所11階 114会議室
議 題	(1) 会長・職務代理選出 (2) 高松市水環境基本計画第2期実施計画平成30年度取組状況について (3) 高松市水環境基本計画の見直し等について (4) その他(委員活動報告) 多川委員(適正排水処理研究会)の活動について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	角道会長、勝浦職務代理、石原委員、岩崎委員、植中委員、塩田委員、末永委員、多川委員、辻委員、三原委員、三宅委員
傍 聴 者	0人(定員5人)
担当課及び 連絡先	政策課水環境対策室 839-2142

### 協議経過及び協議結果

令和元年度第1回会議を開会し、議事1として、委員の互選により角道委員を会長、勝浦委員を会長職務代理に選任し、会議の成立の報告及び会議の公開の確認を行った後、次のとおり議題の審議等を行った。

議事(2) 高松市水環境基本計画第2期実施計画平成30年度取組状況について

(事務局)

(会議資料により説明)

(委員)

環境に関する出前講座等の開催に係る受講者数が少なくE評価となっている。原因と今後の対応策について聞きたい。

(事務局)

環境に関する出前講座については、地域の依頼に基づき、講師の依頼・講演等の開催を行っているため、依頼がなければ講座の開催ができず参加者の増加も見込めない。

今後、地域から興味・関心を持ってもらえるような出前講座のメニューを考えるとともに、講座参加に関する啓発を行い、できるだけ多くの方が環境問題について

## 協議経過及び協議結果

考えてもらえるように取り組みたい。

(委員)

生活排水対策の推進、廃食油収集量の減少に関して、生活様式の変化に対する市場調査などを行い、その結果によっては目標値の見直しも必要と考える。

(事務局)

委員の指摘を参考に、見直しについても検討してまいりたい。

(委員)

1人1日当たり水道平均使用水量について、指標の説明欄には、年間有収水量を給水人口と日数で割ったものと記載されているが、計算上、工業用水や大型店舗も含まれていることを考慮すると、単純に市民の家庭用水の使用が増えているかは分からないと考える。これについての分析や所見について聞いた。

(事務局)

委員の指摘どおり、家庭用と工業用等その他を区別して集計しているものではない。なお、工業等の大口使用の100位までに関しては、前年に比べて変動がない。また50位までに関しては、前年より使用量が減っている。

(会長)

これらの意見を踏まえて、今後とも持続可能な水環境の保全の取組をお願いしたい。

(3) 高松市水環境基本計画の見直し等について

(事務局)

(会議資料により説明)

(会長)

事務局から説明があったとおり、令和2年度から、水施策に関する取組や指標の確認などは、本来は第3期実施計画による進捗管理の予定であったが、実施計画は策定せず、環境基本計画へ移行し、また、水環境協議会の役割は環境審議会へ取り込むこととなる。

何か意見があればお願いしたい。

(委員)

水に関する広報誌「みんなの水」は、これまでは市の広報誌と一緒に届いていたが、今後は企業団が発行するのか。

(事務局)

「みんなの水」は、年3回水道企業団高松事務で発行している。来年度4月から

## 協議経過及び協議結果

は高松統括ブロックセンターとして、三木町・綾川町を含んだ形で広報誌を発行することになる。香川県広域水道企業団全体としては、12月1日創刊号を含む全4回の広報誌発行を目標に進めて行く予定である。

(委員)

水環境基本計画第2期実施計画で進行管理されていた指標に関しては、環境基本計画へ引継がれるものとそうでないものが把握できるが、指標を有していない個別取組の引継ぎどうなるのか。

(事務局)

指標を有していない個別取組の環境基本計画への取込みに関しても今後検討してまいりたい。

(会長)

事務局より説明のあったとおり、水環境協議会については、令和元年度の進行管理を2年度夏頃に行い、その会をもって第2期実施計画が完了することになる。

議題3の高松市水環境基本計画の見直し等については、原案どおりということで取りまとめてよいか。

(委員一同)

異議なし。

(会長)

それでは、引き続きその他報告で委員活動報告について、田川委員より報告をお願いしたい。

(多川委員より説明)

(会長)

多川委員の取組みについては、インバウンドや瀬戸内国際芸術祭で人が多く訪れる男木島・女木島などの離島部でも有効活用できるのではないかと感じる。

皆様から質問等はあるかと思うが、閉会時間となったので本日の会議を終了する。